

奈良・町家の芸術祭 はならあと 2018  
橿原エリア 地域紹介資料

1. 橿原エリア 八木
2. 橿原エリア 今井

## 1. 橿原エリア | 八木

会期：2018年10月5日（金）～10月8日（月・祝）

2018年10月12日（金）～10月14日（日）10時～16時 ※会期中無休

部門：はならあと ふらす

## [地域の歴史紹介]

橿原市八木町周辺地区は、東西に大阪と初瀬・伊勢を結ぶ旧横大路（近世には旧伊勢街道）、南北に奈良、大和郡山と飛鳥・吉野を繋ぐ旧下ツ道（近世は中街道）が交差する古代からの交通の要衝である。今でも伝統的な町家や町並みが残され、歴史的市街地を形成している。

地区内には、接待場や井戸などの歴史的環境やJR畝傍駅、旧和歌山銀行、県立畝傍高校などの歴史的価値が高い近代建築物も点在しているが、建て替えや空き地化が進み変貌する危機にある。

そして、8月には中南和の夏祭りの最後をかざり、町内ごとに立山が建てられる「八木愛宕祭」が行われ、昔ほどではないが「まち」の賑わいも残っている。



## [担当まちづくり団体「NPO法人 八木まちづくりネットワーク」]

上記のような歴史的資源を活かしながら住環境の改善を図り、当地区が「歴史、文化を尊重して生き生きとしたまち」として活性化するため、地元市民やまちづくりの専門家が、草の根市民活動を展開しています。（ホームページ <http://yagimachi-net.jp/>）

## [会場候補]

4件を予定。（参照：<http://hanarart.jp/news/wp-content/uploads/2018/05/yagiplace2018.pdf>）

## [2018年度 コンセプト]

八木は今年で8年目を迎えます。

こうして連続して参加してきたことは誇りに思い、協力いただいていた作家さん、町の人たちにはとても感謝しています。その一方で、昨年の“はならあと”での町の人々の反応は「また今年もやっつはるんやね」というよく言えば定着してきた、悪く言うとマンネリという状況です。“はならあと”は自分事ではなく、どこか他人事という印象を持っています。

8年目の今年には「はならあと」を八木に根付かせたイベントにするべく「変革」の年にしたいと思っています。ポイントは作家さん、運営スタッフ、住民みんなで作り上げる「自分事のはならあと」です。

- ①会場をコンパクトに！！
- ②作家エリア、住民・作家コラボエリア、お祭りエリアの設置。お祭りエリアにステージを設置
- ③開催期間を金土日祝に変更し、毎日をスペシャルデーに！！
- ④プレイベントを積極開催し、当日に向けて盛り上げていく

まず、以前は広く点在していた会場を今年は南八木地区に絞り、コンパクトなエリアで開催します。会期も金土日祝に絞り、みんなが参加しやすい期間とします。そして、作家さんの作品はもちろんですが、住民の方の作品、住民と作家さんがコラボした作品を展示する会場を設け、自分事のアートイベントにしてい

きたい。また、お祭りエリアにはステージを設け、作家さんのライブパフォーマンスや住民の方の発表会の場として、“はならあと”全体を盛り上げるところにしたいと思っています。お祭りエリアには飲食スペースも設けます。

作家さんには、素晴らしい作品の展示はもちろんですが、住民との交流、住民とのコラボ作品（作家さんからの提案も期待しています）、プレイベントにも積極的に参加していただき、一緒に八木の“はならあと”を作っていくっていただくことを期待しています。どうぞよろしくお願い致します。



↑イメージ図

### [歓迎する作家・ジャンルなど]

ジャンルは問いません。

上記のコンセプトを読んでいただき、一緒に楽しんでいただける方を募集しております。

展示会場の数は少なくなっておりますが、昭和の懐かしい雰囲気が残る八木の町をフィールドにして作品を制作していただきたいと思っております。

### [アクセス]

**車** 大阪から約1時間

#### 公共交通機関

奈良発：近鉄奈良駅 → 大和西大寺駅（乗り換え） → 八木西口駅（約40分）

大阪発：大阪駅 → 鶴橋駅（乗り換え） → 八木西口駅（約50分）

大阪上本町駅 → 八木西口駅（約30分）

京都発：京都駅 → 八木西口駅（約1時間）

### [開催範囲／会場候補]



### [住所]

コミュニティスペース wacca（橿原市南八木町3丁目2-9）の周辺に主に展開

**2. 橿原エリア | 今井町**

会期：2018年10月20日（土）～10月28日（日）10時-16時 ※会期中無休

部門：はならあと ふらす

**[地域の歴史紹介]**

今井町は重要伝統的建造物群保存地区の中でも日本一の規模（東西600m、南北310m）を誇る室町時代からの寺内町として保存され、重要文化財九軒を含む全七百戸の八割近くの民家が江戸時代の形式を残す町。かぎ型に通りを曲げた「筋違い」は外敵の侵入を妨げる町衆の工夫で、お茶の文化が息づいた商いの町でもある。“はならあと”には、2011年度、2013-2017年度参加。

**[担当まちづくり団体「今井町町並み保存会」]**

全国町並み保存連盟を立ち上げて「町並みはみんなのもの」を標榜しつつ、永年にわたり、室町時代からの町並みや建物を守り続けている。伝建地区にふさわしい住まい方が模索できる人材の育成を目指し、町の活性化に取り組むとともに昨年度に続き、積極的な空き家利活用を同エリア内で活動する「NPO法人 今井町町並み再生ネットワーク」と協力し、進める。（ホームページ <http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>）

**[会場候補]**

12件を予定。（参照：<http://hanarart.jp/news/wp-content/uploads/2018/05/imaiplace2018.pdf>）

**[2018年度 コンセプト]**

伝統的な町家本来の素材を活かしたアートを展開し、ともすれば古い、住みにくいといったマイナスイメージをアート作家たちとともに払拭することのできるイベントにしたい。

**[歓迎する作家・ジャンルなど]**

今井町の歴史的な背景、例えば今井町が戦国時代に形成された町並み（環濠や筋違いなど、外部からの侵略に備えられた自衛の町並み）であることを理解していただき、伝統的な通り庭や、町家の段差が、生活にもアート展開においても貴重な町家の宝物であるということを実感できるといった、町家が持つ本当の価値を直に感じてもらえるものとしたので、作家の皆さんにはその点を基幹において活動できる方であればジャンルを問わずお迎えしたい。

## [アクセス]

車 大阪から約1時間

## 公共交通機関

奈良発：近鉄奈良駅 → 大和西大寺駅（乗り換え）→ 八木西口駅（約40分）

大阪発：大阪駅 → 鶴橋駅（乗り換え） → 八木西口駅（約50分）

大阪上本町駅 → 八木西口駅（約30分）

京都発：京都駅 → 八木西口駅（約1時間）

## [開催範囲／会場候補]



※2017年度はならあとMAP

## [住所]

〒634-0812

奈良県橿原市今井町「重要伝統的建造物群保存地区」を主に展開